

オーケストラ・アンサンブル金沢

マルク・ミンコフスキ

指揮

オーケストラ・アンサンブル金沢 芸術監督
Marc Minkowski, Conductor (Orchestra Ensemble Kanazawa, Artistic Chef)



© Benjamin Chelly les Echos



© Caroline Doutré

ヴァイオリン
クリストフ・コンツ (ウィーン・フィル首席奏者)
Christoph Koncz, Violin



オーケストラ・アンサンブル金沢
Orchestra Ensemble Kanazawa

ベートーヴェン
ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.61

L.v.Beethoven : Violin Concerto in D major, op.61

ブラームス
セレナード第1番 二長調 op.11

J.Brahms : Serenade No.1 in D major, op.11

第417回定期公演マイスター・シリーズ

2019年7月6日(土) 14:00開演
(13:15開場)

石川県立音楽堂コンサートホール

Orchestra Ensemble Kanazawa The 417th Subscription Concert, Meister Serie
Saturday 6 July 2019, at 2 PM, Ishikawa Ongakudo Concert Hall, Kanazawa

SS席 6,000円 S席 5,000円 A席 4,000円
B席 3,000円 スターライト席 1,000円 (税込)

4/6(土)より
一般発売

25才以下当日券を50%オフでご購入いただけます! (年齢を証明できるものをご持参下さい)

東京特別公演

2019年7月9日(火) 19:00開演
(18:00開場)

東京芸術劇場コンサートホール

Orchestra Ensemble Kanazawa Tokyo Special Concert
Tuesday 9 July 2019, 7 PM, Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

S席 7,500円 A席 6,000円 B席 4,000円
(税込)

4/9(火)より
一般発売

25才以下当日券を50%オフでご購入いただけます! (年齢を証明できるものをご持参下さい)

チケットのお求め・お問合せ 石川県立音楽堂チケットボックス TEL.076-232-8632 (電話 10:00-18:00) WEBからの予約もできます。http://www.oek.jp/

チケットぴあ (Pコード120-011)・ローソンチケット (Lコード57288)・セブンチケット

東京芸術劇場ボックスオフィス TEL.0570-010-296 (休館日を除く 10:00~19:00)
チケットぴあ (Pコード147-290)・ローソンチケット (Lコード32787)・セブンチケット

- OEKメンバーによるプレコンサート 13:15頃 音楽堂2F カフェ・コンシェルト
- 託児ルーム (有料) 6/26(水)17:00までにお申込み下さい。TEL.076-232-8111

※未就学児のご入場はご遠慮ください。都合により内容に変更が生じる場合がございます。予めご了承下さい。

主催 公益財団法人石川県音楽文化振興事業団 〒920-0856 石川県金沢市昭和町20-1 石川県立音楽堂内

助成 公益財団法人アフィニス文化財団



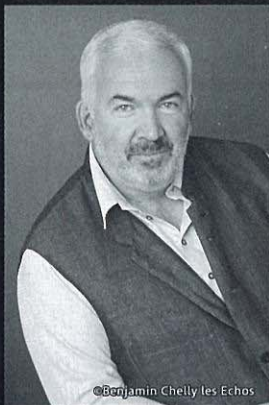
文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



ミンコフスキ×OEK 新時代の幕開け!

2018年夏、ミンコフスキ×オーケストラ・アンサンブル金沢(OEK)で手がけたドビュッシーのオペラ「ペレアスとメリザンド」(金沢と東京で上演)が、音楽誌「音楽の友」2018年のベストコンサートで第3位(国内オケ最上位)に選ばれました!ミンコフスキがボルドー国立歌劇場総監督として自身が選りすぐった若き歌手陣やボルドーのスタッフ陣と共に、OEKメンバー、スタッフが創りあげた公演は、堂々最高評価を獲得しました!

OEK 芸術監督として次のプロジェクトへの期待が高まる中、ミンコフスキが選んだのはブラームスの「セレナード」。そして、ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲では、ウィーン・フィルのメンバーでありながら、多才な音楽能力を持ち合わせ、ミンコフスキ率いるミュージシャン・デュ・ルーヴルの首席客演指揮者もつとめる若きヴァイオリニスト、クリストフ・コンツとの共演が実現。室内オーケストラの優れたアンサンブル能力と編成を生かしたプログラムは、ミンコフスキ×OEKの新時代の幕開けとなるプロジェクトです!



マルク・ミンコフスキ (指揮、OEK 芸術監督)

Marc Minkowski, Conductor (OEK Artistic Chef)

若い頃より指揮者を志し、19才でバロック音楽に積極的に取り組むアンサンブル、ミュージシャン・デュ・ルーヴルを立ち上げ、モーツァルト、ロッシニー、オッフェンバック、ワーグナーなどのレパートリーに取り組む前に、フランスの作曲家やヘンデルの作品を集中的に演奏した。パリ、ウィーン、ベルリンの劇場に定期的に出演。また、BBC交響楽団、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ザルツブルグ・モーツァルテウム管弦楽団、マラー・チェンバー・オーケストラ、クリーヴランド管弦楽団、マリンスキー劇場、東京都交響楽団において19~20世紀の作品を中心に演奏し高い評価を得ている。2015年からスウェーデンのドロットニングホルム音楽祭にてモーツァルトのダ・ポンテ三部作の上演に取り組む。2013~2017年にかけてモーツァルト週間の芸術監督をつとめ、2015年調教師のバルタバスとヴェルサイユ・アカデミー劇場を招き、モーツァルトのオラトリオ「悔悟するダヴィデ」をバロック様式の夏の乗馬学校で上演した。2011年、フランスの大西洋沿岸のレ島にレ・マジェール音楽祭を設立。2016年よりボルドー国立歌劇場総監督を務め、2018年9月、オーケストラ・アンサンブル金沢の新しい芸術監督に就任した。

クリストフ・コンツ (ヴァイオリン)

Christoph Koncz, Violin

ウィーン・フィルの首席奏者ながらソリスト、指揮者、室内楽奏者として多才な活動を展開している若きヴァイオリニスト。1987年オーストリア・ハンガリーの音楽一家に生まれ、4才でヴァイオリンの最初のレッスンを受け、わずか2年後にウィーン音楽大学に入学。ヴァイオリンの研鑽に加え、2005年にマーク・ストリンガーの指揮クラスに入る。さらに、ダニエル・パレンボイム、ダニエル・ハーディングのマスタークラスを受講し、音楽性を豊かにした。9才のとき、カナダの長編映画「レッド・ヴァイオリン」に天才少年カスパー・ヴァイス役として出演したことで世界的に高い評価を受け、12才でデュトワ指揮モントリオール響との共演でデビュー。マリナー、シトコヴェツキ、ミンコフスキ等指揮者との共演を重ね、カヴァコス、バル、フランク、カプソン、ブッフピンダー等と室内楽で共演。2008年、20才でウィーン・フィルの首席第2ヴァイオリン奏者に就任。2017年、指揮者としてメンフィス響と共演しアメリカデビューを果たし、トーンハレ管、コンチェルト・ケルン等と共演。その後、ミュージシャン・デュ・ルーヴルの首席客演指揮者に就任した。オーストリア銀行よりストラディヴァリウスを貸与されている。



©Caroline Dautre

オーケストラ・アンサンブル金沢

Orchestra Ensemble Kanazawa

1988年、世界的指揮者、故岩城宏之が創設音楽監督(現在、永久名誉音楽監督)を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。2001年金沢駅東口に開館した石川県立音楽堂を本拠地とし、世界的アーティストとの共演による定期公演や、北陸、東京、大阪、名古屋での定期公演など年間約100公演を行っている。これまでにシュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭(ドイツ)、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノフェスティバル(フランス)など音楽祭からの招聘を含む20度の海外公演を実施。設立時よりコンポーザー・イン・レジデンス(現コンポーザー・オブ・ザ・イヤー)制を実施、多くの委嘱作品を初演、CD化している。ジュニアの指導、学生との共演、邦楽との共同制作などオーケストラ育成・普及活動にも積極的に取り組んでいる。ドイツグラモフォン、ワーナーミュージックジャパン、エイバックスなどメジャーレーベルより90枚を超えるCDを発売。07年より18年3月まで、井上道義が音楽監督を務め、18年9月よりマルク・ミンコフスキが芸術監督を務める。

公式ホームページ <http://www.oek.jp>

